

vol.138

2024.10.29

大分工業高等専門学校

明野通信

住所：大分県大分市大字牧 1666

URL：<http://www.oita-ct.ac.jp>

/ 目次 /

| | |
|----------------|----|
| 巻頭言〔校長〕 | 2 |
| 主事室便り | 2 |
| 新任教員挨拶 | 4 |
| オープンキャンパス | 5 |
| 学年通信 | 8 |
| 専攻科便り | 12 |
| 本科新入生・留学生の声 | 13 |
| 学生会便り | 14 |
| 寮生会便り | 16 |
| 国内インターンシップ報告 | 17 |
| 各種報告 | 18 |
| ディープラーニングコンテスト | 20 |
| 足踏みミシンボランティア活動 | 21 |
| 国際交流推進室だより | 22 |
| 地域共創テクノセンターから | 23 |
| 行事予定(10~3月) | 24 |



全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024 表彰式
本選 5月10日(金)・11日(土)



海外研修 第1陣 台湾研修
8月21日(水) - 24日(土)



海外研修 第2陣 シンガポール研修
9月3日(火) - 7日(土)



足踏みミシンボランティア活動
海外渡航 9月24日(火) - 30日(月)

巻頭言

努力の意味

校長 坪井 泰士



人はなぜ、努力するのでしょうか？

南海キャンディーズの山里亮太さんをご存じでしょうか。彼は落語家でもあって、師匠とともに開く落語会を前に、母親に向けて不安な気持ちをこぼすLINEを送ったそうです。その時の返信が次の言葉とされています。

努力して結果が出ると自信になる。
努力せず結果が出ると驕りになる。
努力せず結果も出ないと後悔が残る。
努力して結果が出ないとしても経験が残る。

私はこれまで、担任をする際などに、学生に向け「努力しても報われることは多くないのに、なぜ努力するの?」と、努力の意味を尋ねてきました。

山里亮太さんのお母様は、奇しくもその答えの一つを明示しているようです。

努力にこそ、意味がある。

たとえ一番になれなくても、必ずしも成功しなくても、自身の定めたゴールに向けて励むことこそが大切なのではないのでしょうか。

人生80年。短くも長いその期間は、必ず有限で、誰にも終わりが訪れます。その限られた時間の中に生きるということは、それだけで価値があり、努力することでそれはより輝くのではないかと思うのです。

パリオリンピックが終わりました。

どの競技、どのシーンが印象に残っていますか。私の場合、勝者の喜びよ

り、敗者の流す涙に惹かれています。
4年に一度のスポーツの祭典。世界選手権と同じく、その競技のNo.1を目指して競い合うのですが、オリンピックにとくに思いをいたす競技者が多いようです。

ある選手はその日の競技内容を問われ、「内容はどうでもよい、勝つことが大切だ」と答えていました。努力でなく結果だけを重視しているように見えますが、それは国の代表として臨むオリンピックで、皆の期待に応えたいという思いの強さから来るものであって、実際、私たち応援する者とはともに勝利を喜び、敗戦を惜しむけれども、決して敗者の努力をそしめることはないのです。

ひたむきに励んでいる時間を、一つ一つのプレーに感じるからこそ、時に声を張り、時に手を叩いて応援する。

それは、オリンピックに限るものではないはずです。

日々の営み、学習やクラブ、そのすべてに努力があります。学習で難しい問題にチャレンジする、クラブで失敗したチームメートを気遣う、家族を想い家事を任う…努力はそこここにあります。

一番を目指す努力もあれば、自身の成長に向けた努力、思いやりを形にする努力など、その形はさまざまです。

私自身、そのような努力を忘れないようにと心がけています。もちろん、能力相応、年相応に無理せず…ちよっぴりかもしれないけど少し先を少し高みを目指したいと思います。

みなさんにも、日々の努力の意味を考え、より充実した、そして楽しい一日を過ごしていただきたいと心から願います。すべての努力には大きな意味があり、その努力を友人や家族が応援しているのです。



主事室便り



総務主事 堀 浩二

今年度は、三つの新たな取り組みを行っています。一つ目は、学生の起業家マインドを

育成する環境の整備です。昨年度の教育環境整備事業で、大型3Dプリンタやレーザー加工機、立体スキャナ等を導入することができました。これらの装置を設置した『インキュベーションコアルーム(起業家工房)』を開設し、学生が利用申請すれば自分のアイデアを自由に形にできるように環境を整えました。また、大分高専と企業の技術交流組織である大分高専テクノフォーラムでは、ビジネスプランのアイデアやプログラミング技術を競う外部のコンテストなどへ参加する学生の旅費を補助する『研修発表等助成制度』を開始しました。二つ目は、デジタル技術を用いて、業務の効率化を推進しています。例えば、保護者の方々への連絡をインターネットを用いたプッシュ通知で行える環境の導入を検討しています。三つ目は、大分高専を受験生や保護の方々に広く知っていただくための活動を再開することです。コロナ禍で制限をしていた校内行事を従来の形に戻すことにし、オープンキャンパスでは来訪者に対する制限もほぼ無くしました。多くの小中学生や保護者に高校とは少し違う高専の魅力を実際に感じていただけるよう努めます。

今後も科学する心と愛の精神を持つ学生を育て、健全で豊かな社会の実現を目指す技術者の学びの場となるような学校を目指します。



主事室便り



教務主事

松本 佳久

教務主事としては、2期4年目となります。今年度の教務主事室は、徳尾主事補(教学

IR室長)、工藤主事補、福村主事補の体制となっております。教務主事室と教学IR室では、教育の質保証、本科カリキュラムの編成や改訂、学習・教育環境の充実に向けた様々な取り組み、成績評価、入試関係業務などを行っております。引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

学生諸君はディプロマポリシーやカリキュラムポリシーといった本校が設定した各方針を確認したことがあるでしょうか？本校では、技術者として養成すべき人材像を明確にしており、この目的の達成に向けての本科卒業や専攻科修了時の到達目標を提示し、日々の学習活動のよりどころにして頂いています。ディプロマポリシーは本校で5年ないしは7年経過後の諸君のあるべき姿(平たく言えば、卒業・修了までに修得すべき能力)を表しているものと理解してください。また、カリキュラムポリシーとは、ディプロマポリシーの達成に向けて計画されたカリキュラム、すなわち一般科目や各学科で設計されて実施される、教育課程そのものを言っています。言い換えれば、各科目はやみくもに設定・開講されているわけではなく、明確なフィロソフィーのもとに構成されているのです。

このようなことを言えば、学生諸君は色々な心配が起きるかも知れませんが、でも心配は無用です。本校のカリキュラム設定では、必修科目を修得すれば、自動的にディプロマポリシーに沿った素養が身に付くように設計されています。各科目の修得に邁進すれば、特別な意識をしなくてもよい構造です。

オンデマンド授業配信システムを今後も活用して頂き、能動的な学習に是非、取り組んで頂きたいです。将来の日本のものづくりを支える技術者としてしっかりと素養を身に付けて下さい。



学生主事

大庭 恵一

学生主事2年目になります。今年度の学生主事室は、学生会・新入生オリエンテーション

を稲垣主事補、高専祭・特別活動を広瀬主事補、車両関係・音楽祭を前主事補、体育行事・部活動関係を石川秀大主事補が担当します。

体育局の部活動は、九州高専大会で熱戦を繰り広げてきました。その結果、サッカー部が2位に入り、見事全国大会出場を果たしました。陸上競技部の学生2名も全国大会の切符を手に入れました。10月13日(日)には、九州地区の高専ロボットコンテストが行われ、ロボット研究部が全国大会出場を目指します。

後期に入りますと、体育祭、高専祭、音楽祭の高専三大祭が行われます。今年の音楽祭は、4年ぶりに学外で行われ、11月4日(月)15:00～ホルトホールにて行われます。吹奏楽部と軽音楽部の日頃の練習の成果をぜひ見に来てください。

今年は前期の終わりにも5日間ほど実施いたしましたが、後期にも3週間ほどのカジュアルウィークを実施し、全校の学生が私服での登校となります。今年で3年目の試みになりますが、多くの学生からご好評をいただいております。

学生主事室はいじめ防止にも取り組んでおり、年4回アンケートを実施して、校内での人間関係において困りごとを抱えている学生を見逃さないようにしております。今年度から学生支援センターが設置され、学生相談室をはじめとする関係部署が連携して、学生たちをサポートする体制が整いました。このように、全ての学生がより安心して高専生活を送れる環境となりましたので、学生の皆さんには勉強・部活動に大いに励み、学生会の主催する各種イベントを精一杯楽しんでもらえたら、学生主事室としてはうれしく思います。



寮務主事

清武 博文

寮務主事5年目となります。今年度寮生のお世話を主事補の先生方は、1寮が

野間由梨花先生、2寮が十時優介先生、3寮が樋口勇夫先生、4寮が伊野翔次先生、5寮が上野崇寿先生です。また、事務職員3名、寮母3名、学寮指導員4名の教職員一丸となって、寮生の皆さんをサポートします。

今年度より、従来の寮生手帳を「みんなに分かりやすく」すべく全面改訂しました。寮生活の指針を全て書き込んだのでページ数も増え、新たに「明野寮便覧」として発行しました。ぜひ活用をお願いします。

また、明野寮のHPもさらに分かりやすくなるよう修正する予定です。HPは大分高専HP中の施設情報→学寮(明野寮)にあります。広報部会の皆さんが明野寮の活動について記事をアップしてくれていますので、定期的に見に行ってください。

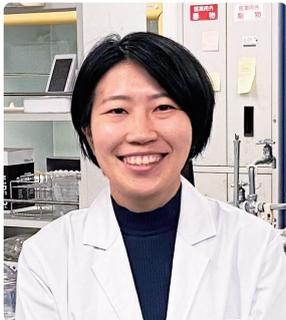
国際情勢による世界の化石燃料の大幅な価格高騰を受け、寮の電気代が上がっています。8月の電気代は昨年同月のなんと約1.5倍になっています。寮生の皆さんはエアコンの過剰な温度設定を避け、着用する衣服を調整して省エネルギーに努めてください。

これから冬に向けて、インフルエンザも流行る季節を迎えます。とにかく「感染が拡がらない寮」としたいので、寮全体への視線を持って行動して下さい。体の抵抗力を保つためにも、安定した生活のリズムと睡眠・食事をきちんと取りましょう。

後期のイベントは、寮生リーダー研修、寮生バレーボール大会、防災訓練、寮祭を予定しています。寮生の皆さんの人間形成と教育の場となるように務めて参ります。



新任教職員挨拶



都市・環境工学科

永井 麻実

4月から、都市・環境工学科の助教として着任いたしました。また、新潟にある長岡技術科学大学5年一貫制博士課程にも在籍しており、現在4年生です。大学院の前には、鹿児島県にある食品製造業の会社で商品企画や営業などの仕事をしておりました。また、製造過程における水処理技術や廃水汚泥の利活用について鹿児島高専の先生と共同研究をしていたことから、高

専や長岡技大との繋がりができ現在に至ります。

研究では主に、微生物を使って汚い水をきれいにする技術の開発に取り組んでいます。下水や養殖廃水の水処理を通して国内外における環境問題の解決法も学生の皆さんと一緒に考えていけたらと思います。

趣味は建築巡りと写真です。大分は建築の巨匠・磯崎新さんをはじめとして良い建築がたくさんあり、大変楽しいです。写真については学部生の時にカメラマンを目指していたこともあるので、カメラや写真でわからないことはお任せください！

着任から数ヶ月ではありますが、研究や授業、イベントで学生の皆さんの適応力の高さやパワフルさに助けられております。日々の学校生活の中でも皆さんが明るく接してくれるので毎日元気をもらっています。今後もぜひ話し相手になってください！

教員として至らない部分も多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願いたします。

職員 転入者等一覧

【学外からの異動】

| 氏 名 | 所属・職名 | 前任地 | 異動日 |
|--------|---------|--------|----------|
| 米内 治 | 事務部長 | 富山高専 | 令和6年4月1日 |
| 千々松 範朗 | 総務課長 | 滋賀医科大学 | 令和6年4月1日 |
| 成田 悦子 | 学生課長 | 弓削商船高専 | 令和6年4月1日 |
| 宮成 隆明 | 総務課総務係員 | 都城高専 | 令和6年4月1日 |

【新規採用】

| 氏 名 | 所属・職名 | 採用日 |
|-----------|------------------------|-----------|
| 越智 清 | 地域共創テクノセンター（コーディネーター） | 令和5年11月1日 |
| 井上 蓮 | 総務課施設係員 | 令和5年10月1日 |
| 内田 知里 | 学生課図書係員 | 令和6年4月1日 |
| 古長 多美子 | 学生課学生支援係員（学生相談室インターカー） | 令和6年4月1日 |
| ズバレフ ミハイル | 技術部 | 令和6年9月9日 |



令和6年度 オープンキャンパス



広報委員長
霧 浩二

令和6年度大分高専オープンキャンパスを例年通り7月の第1土曜日(7月6日)に開催しました。最高気温が35度を超える猛暑の中、1,300名を超える方々にご来校いただきました。当日は在校生の協力のもと、教職員一同で運営に当たりました。

オープンキャンパスの目的は、本校への進学希望者やその保護者の方々に本校の施設を公開し、各種イベントや実験を通して本校についてより深く理解していただくことです。今年は、新しい試みとして、大分駅前と高専正門間に無料のシャトルバスを運行しました。これは、運動場の排水設備を新しくする工事を行うため、運動場を駐車スペースとして使えなくなったためです。

学生が引率する好評の4学科見学ツアーや試験問題解説、学校紹介なども従来通り実施しました。また、昨年度のオープンキャンパス参加者アンケートに運動部の課外活動の様子を見たいのご意見がありました。そこで、今年は吹奏楽部、軽音楽部の演奏やロボット研究部、文化部の展示の他、中央ロビーや休憩室で運動部の課外活動(クラブ)の様子をビデオ動画で情報発信しました。

今年のアンケート結果では、「学生の方が一生懸命に説明して下さり、毎日きちんと勉強されてるんだなあ」と印象を受けました、「学生たちの楽しそうな雰囲気伝わりました」、「色々な実験ができて楽しそうだと思います」などのコメントをいただきました。満足度評価では、5点満点で平均4.6点と好評でした。

オープンキャンパスをきっかけに本校を志望する小学生、中学生も多いことから、今後も充実したイベントとなるよう学校を挙げて取り組んでまいります。

| 学 科 等 | テ ー マ |
|------------------|-------------------------|
| 機 械 工 学 科 | デジタル×ロボット×機械工学が創る世界 |
| | デジタルで見るミクロとスピードの世界 |
| | 調理法を変えた鉄の強さを実感してみよう |
| | VRの実習体験 |
| | レーザー加工を見てみよう |
| 電 気 電 子 工 学 科 | 学生のアイデア作品大集合！ ハード開発編 |
| | 学生のアイデア作品大集合！ プログラミング編 |
| | AIとロボットを見て、触ってみよう！ |
| | 電波で咲かせよう！ LEDのお花畑 🌸 |
| | 雷様を体感しよう ⚡ |
| 情 報 工 学 科 | 何ができるかな？ 3Dプリンタ・レーザー加工機 |
| | 映像メディアスタジオへようこそ！ |
| | アルゴリズムで遊ぼう！ 学生プログラム展示 |
| | CGでパンダを作ろう |
| | バーチャル空間を体験しよう |
| 都 市 ・ 環 境 工 学 科 | 最新のAIロボットを操縦しよう！ |
| | “土”のフシギ |
| | 楽しいコンクリート |
| | 廃油でつくるお花キャンドル |
| | 地震に強い構造物を作ってみよう！ |
| 都市・防災におけるIT技術の活用 | |
| 最新の計測技術を体験してみよう！ | |



学科ツアー



学生による学科紹介



試験問題解説



文化部イベント

機械工学科 オープンキャンパス

デジタル×ロボット×機械工学が創る世界

二足歩行ロボットによるロボットバトル、小型移動ロボットを使った地図作成、3Dスキャナ体験、ジャイロ効果で自立するロボットの実演、レゴを用いた各種ロボットの展示などを行いました。



調理法を変えた鉄の強さを実感してみよう

熱処理の方法を変えるだけで鋼の強さに違いが出る熱処理実験、その強さの違いを知るための衝撃試験を行いました。目の前で実演することにより、中学生の皆さんは興味深く見学してくれました。また、保護者からも驚きの声が上がりました。



デジタルで見るミクロとスピードの世界

日常には、掃除機に使われているサイクロン内部の流れや、500円玉のギザギザの内側に刻まれた模様のように、動きが速かったり物が小さかったりすることで目では確認できないものがあります。そのような、日常にはあるけど見ることができない世界を高専の設備を利用して学生がわかりやすく紹介しました。



VRの実習体験

デジタル技術とものづくりの融合を体験できる、他にはない実習に、見学者から大きな反響がありました。VRならではの臨場感あふれる体験に、未来のものづくりへの興味が深まったようです。

レーザー加工を見てみよう

学生が描いた動物イラストをレーザー加工したキーホルダーを展示・配布を行いました。七夕をイメージして製作した笹スタンドで展示を行い、製作した400個を参加者に配布しきるなど好評でした。

電気電子工学科 オープンキャンパス

① 学生のアイデア作品大集合!

ハード開発編

5年生が作った作品を紹介します。部品の発注からプログラミング、概形の作製まで学生のみ力で作った作品をご覧ください。



② 学生のアイデア作品大集合!

プログラミング編

1年生と2年生が実際に作ったゲームやレゴマインドストームを使ったロボットを展示します。学生達が仕組みを説明するよ!



③ AIとロボットを見て、

触ってみよう!

マイコンロボットの实演と人工知能体験：高学年が実験で作ったロボットの操縦体験ができます。人工知能体験コーナーもあるよ。



④ 電波で咲かせよう!

LEDのお花畑

タイタニック号が使っていた無線通信の技術を再現し、LEDの点灯実験を行います!



⑤ 雷様を体感しよう ⚡

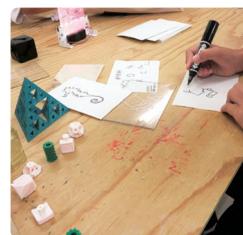
百万分の1秒の間に20000Vの電気を発生させ、人工的に雷を起します。この雷様の力を利用して色々な実験を行います!



⑥ 何ができるかな?

3Dプリンタ・レーザー加工機

レーザー加工機を使って木材や布に絵や文字を入れて、自分だけの作品を作ってみよう。その他、3Dプリンタや回路基板加工機が動いている様子を見てみよう。





情報工学科 オープンキャンパス

映像メディアスタジオへようこそ

映像メディアスタジオ(情報工学科棟2階)の機材を使って、2年生～5年生の学生たちが情報工学科を紹介するYouTube番組の生配信を行いました。来場された中学生と保護者の皆様には、スタジオ内の観覧エリアから撮影や配信の様子を直接ご覧いただきました。



アルゴリズムで遊ぼう! 学生プログラム展示

学生達が授業で作成したオリジナルゲームをいくつか展示し、ゲームを作成する授業があること、高専生は高いレベルのプログラミング技術を取得できるとことを知っていただきました。



CGでパンダを作ろう

CG作成ソフトウェアBlenderを用いて、パンダの3Dモデルの作成に取り組んでいただきました。多くの方は初めての経験だったようですが、上手く使いこなして楽しく3Dモデルを作成いただきました。



バーチャル空間を体験しよう

バーチャル空間でキャラクターとお喋りや車の運転をするVR技術や、現実世界にバーチャルな物を重ねて投影する複合現実技術の体験をして貰いました。皆さん楽しみながら展示を体験して頂けました。



最新のAIロボットを操縦しよう!

各種ロボットを展示し、来場者さんに操作を体験してもらいました。特に普段は目にする事のない4足歩行ロボットは大人気で、その犬にも似た不思議な動きに対してさまざまなリアクションがありました。



都市・環境工学科 オープンキャンパス

オープンキャンパスでは、猛暑にも係わらず多くの方々にご来場頂きありがとうございました。二つのフロアー、都市・環境工学科棟1階と2階に分かれて、6テーマで実施しました。1階のフロアーでは、“土”のフシギ、楽しいコンクリート、および廃油で作るお花キャンドルで、どの会場も終始、賑わっていました。スペースが少し足りないかな、と思わされるのが何回もありました。ご不自由を感じられた方々には大変申し訳ございません。一方、2階のフロアーでは、地震に強い構造物を作ってみよう!、都市・防災におけるIT技術の活用、および最新の計測技術を体験してみよう、ということで、何れも都市・環境工学科での教育・研究内容に沿ったテーマでした。何れの会場においても本校教員と学生が内容の説明や実演をさせていただきました。ご来場頂きました方々、また、いろいろご質問や激励頂きました方々に感謝します。



都市・環境工学科では、社会資本(インフラストラクチャー)整備技術、防災技術、および環境保全技術について学びます。1、2学年の低学年次は一般科目、基礎科目を中心に学習しますが、3学年次以降は専門科目の授業も多くなります。また、実験実習に多くの時間を割いているのも高専ならではのことでしょう。実験実習では、今回のオープンキャンパスでご見学、あるいは実演頂いた実験装置・器具等を用いて、各種試料の作成や種々の計測を行います。高専5年間の学習総まとめとして5学年次には各自、卒業研究に取り組みます。卒業生は大分県内外で活躍していますが、大分県、大分市、別府市、佐伯市等、地元の自治体に就職する学生が多いのも都市・環境工学科の特徴です。華やかさはないかもしれませんが、一方で昨今、議論が高揚しています地球温暖化に伴う気候変動とも関連が深く、地域と密着してともに歩み続けていきます。



学年通信

1・2学年クラス通信

チャレンジ精神を持って

1M担任 菊川 裕規

4月に入学してから半年が過ぎましたが、高専生活はいかがでしょう。希望に胸を膨らませて入学したあの日のことを忘れずに、5年間の高専生活を有意義に過ごしてほしいと思います。みなさんの人生にとって、この5年間をいかに過ごすか、それは間違いなく今後の人生の大きな指針となるはず。選択肢は無限にあります。高専卒業後に大きく方向転換した先輩方も大勢います。しかし、この高専生活で得た何物にも代えがたい経験は必ずや何かの役に立つはず。テストで良い点を取るだけで人生の全てではありません。いろんな経験をして、いろんな壁にぶち当たり、その壁をどう乗り越えてきたのか、そのような経験が今後の人生の糧となります。高い山ほど幅広い裾野が広がっています。幅広くいろいろなことを経験した人ほど大きな山を築くことができると思います。学生時代にいろいろなことにチャレンジして自分の強みを作してほしいと願っています。

The sky is the limit. (可能性は無量大)

1S担任 川野 泰崇

天高く馬肥ゆる秋と言われるように、秋空と言えば高く晴れた空を思い出します。どこまでも無限に広がる青く澄んだ空をじっと見上げると、漠然とした不安が霧散し、次第に明日もまたがんばろうという気持ちになる。

高校に入学した場合、間もなく大学受験を否応なしに意識せざるをえない。昼夜勉強漬けとまではいかないまでも中学校時代と異なりプレッシャーとストレスの毎日である。幸い高専生には受験勉強がない。その分、のびのびと自分の道を極めることができる。「自由な」時間はたくさんある。とは言え限りがある。時間の使い方次第で青天井で成長していくことができる。

1S学生の皆には、入学時に抱いた夢や目標を忘れずに、ぜひとも自分を信じて愚直にがんばって欲しい。やればできる。The sky is the limit!!

チャレンジの1年に

2M担任 徳丸 和樹

入学してから1年半が経ちましたが、みなさん高専生活に慣れましたでしょうか。慣れすぎてだれてしまっている人もいるかもしれません。今年の始業式でも言いましたが、2年生はチャレンジの年だと思っています。勉強方法を変えてみたり、免許をとったり、資格をとるのもいいですね。

今年は個人プロジェクトというチャレンジする環境を作ってみました。このプロジェクトではアウトプットが重要です。素晴らしいアイデアでも実現できなければ他人からは評価されません。逆に凡庸なアイデアでも作ってしまえば一定の評価を得ることが出来ます。今みなさんの周りには3DプリンターやCNCフライスなど簡単にアイデアを形にできる設備がそろっています。使い倒してアイデアを実現していきましょう!

主体的で楽しい高専生活を!

1E担任 倉持 凜人

高専に入学して最初の1年の半分が終わりました。高専生活には慣れましたでしょうか。最初は緊張していたクラスも、様々な行事を通して仲が深まり、次第に明るく活発なクラスに変化していったという印象です。

前期を終え、今までと違い高専では勉強も行事も主体的に動く必要がある事に気づいた学生も多いかと思います。この気づきを大事にしてください。1年生は今後の生活リズムを作る一番大事な時期です。より充実した高専生活を送る為にも、主体的に動くことに慣れ、生活にメリハリをつけることを意識して学んでいきましょう。

初めてのことは誰でも分からないことだらけで、多くの失敗をするものです。そこで主体的に動けるかが今後の人生に大きな違いを生みます。後期は、高専祭・体育祭など楽しめるイベントが目白押しなのでチャレンジ精神を忘れずクラスで協力して楽しんでいきましょう!

1Cの前期を振り返ってみますと…

1C担任 内田 龍之介

世の中、大谷翔平選手の活躍や株価変動など様々な出来事があるなか、皆さんは「明るく楽しい1C」とのクラス目標のもと、高専生活を送っています。桜の花びらに散る前に入学したのにもう真夏となり、瞬く間に前期は終了です。

入学直後の緊張はオリエンテーション合宿で打ち解けたようです。バスの中では校歌を練習し、散策では雑談を楽しみました。「やかましゅう言うてやって参りますその道中の陽～気なこと」という落語の名文句がぴったりでした。

校歌コンクール優勝の勢いを以って球技大会でも奮闘しました。定期試験では良い結果を残した方もいれば、更なる奮起を要する方もおられるでしょう。ただ、教室や図書館で黙々と試験対策をする姿に感心しました。必ずや実を結ぶと確信しています。急がず焦らず継続しましょう。

さて皆さん。後期は体育祭や高専祭といったイベントが待っています。全員で協力し、盛り上げましょう!

規則正しい生活を

2E担任 山口 貴之

皆2年生になり、高専生活にも慣れてきた頃かと思います。90分授業なども普通に感じられるようになっていたり、長時間の実験なども当たり前で熟せたりと、成長ぶりが確認できることを嬉しく思っています。

反面、生活の乱れがじわじわと目につくようになってきました。まだ一部の学生に限られますが、それが当たり前にならないよう、クラス全体の雰囲気が乱れないようにしてほしいと感じています。相対的に成績は全体的に優秀かと思いますが、恐らく実力を発揮できていない学生も多そうです。入学当初に抱いていた、高専で学びたいという気持ちを思い出して、まずは生活リズムを正して欲しいなと思います。

学年通信

2・3学年クラス通信

「気」の重要性

2S担任 山下 航正

剣道において大切な語句の一つに、「気剣体(気剣体一致)」というものがあります。簡単に説明すると、有効打突のための、充実した氣勢・正しい剣(竹刀)捌き・正しい体捌きと残心、を表します。そして、この語句の最初にある「気」の重要性については皆さんご存じの通り、「病は気から」他、「気」を用いた慣用句等は枚挙に暇がありません。

“気持ちはあるけど身体が動かない”，そういうときは、身体をしっかりと休めた後、歩き始めましょう。また、“気持ちはなかなか出てこない”というときにも、身体を休めたり、周囲(家族・友人・相談室・他)に相談したりしてみてください。きっかけやヒントが得られると思います。

今年度の残りの半年間も、お互いに「気」を充実させて、実りある日々にしていきましょう。そして機会があれば、これも剣道で重要な語句である「合気」についても、「特別活動」あたりでお話しできればと思っています。

専門科目の攻略にむけて

3M担任 坂本 裕紀

本年度から、皆さんの担任になりました。昨年からの授業ではお会いしていたので、なんとなくですがそれぞれのキャラは掴んでいるつもりです。前期を終え、クラス全体は真面目でまとまりのある印象があります。もう少し自己主張が出てきてよいように思えますので、これから進路を決めていくにあたって、自身のアピールポイントを増やしていきましょう。

さて、3年になり、授業のレベルアップ、特に専門科目が増えたことで苦戦する者が増えているように思います。正直、難しくないとはいえ嘘になります。ですが、解けないレベルの問題はないはず。多分。ですので、分からないことは、一人で悩まずにまず質問です。他の科目でも何でも私の所に質問・相談にきて良いです。存分に担任を活用しましょう。

半年ほどたちましたが…

3S担任 牧野 伸義

私は昨年まで、辛い中間管理職をしてきて、もし担任ができたなら、あんなことや、こんなことをしてみたいと、妄想を抱いてきました。特にその中で、強く目指したかったのは笑いのある楽しいクラスでした。

そして今年度から念願の担任に就くことになりました。ところが、クラスは3S。昨年からの授業を担当しているのですが、澄ました学生が多く、強敵ばかりでちょっと不安でした。しかも、以前担任をした12年前に比べて、担任の仕事が多く、あまり余裕がありませんでした。特活や、Teamsでの話しかけなど、ここまできてみんな、楽しんでくれているのでしょうか？他にも、一方的だったかもしれませんが、私なりの考えを述べたり、授業以外にも学習をしたりしました。旅行にも行きました。楽しかったですか？あと、半年ですが、お互い多く考え、大いに学びましょう。

後期に向けて

2C担任 姫野 季之

暑さが厳しい日々が続いておりますがお変わりないでしょうか。クラス通信を執筆するタイミングを迎える度に、月日が過ぎ去る速さを感じますが、今年度も例外ではなく、2年生も既に折り返し地点を迎えています。2年生に進級し、勉強面ではC科らしい専門科目の割合が少しずつ増え、周囲と協力しながら実習に取り組んでいる様子が印象的です。各種クラス委員にも新たな顔ぶれが並び、積極的なクラス運営への貢献に感謝しております。後期は、教養旅行をはじめ、体育祭や高専祭、音楽祭と高専三大祭もありイベントが目白押しです。クラスTシャツも出来上がり、モチベーションも高まっていることと思います。よく学び、よく遊びながら毎日を大切に楽しく頑張っていきましょう！



大きく成長した学生たち

3E担任 森田 昌孝

去年の4月から一緒に過ごし、もう1年半が経ちました。当時はまだ2年生ということもあり、高専生活にも慣れ、良くも悪くも出力調整ができるようになり、私からの小言が多くなったことを記憶しています。

しかし、時間が経つにつれて、小言も減り、進路への意識や学習の大切さを認識し始めました。特に3年生の前期では、大きな違いを感じるようになりました。

成績に対して執着心やこだわりを持って取り組む学生が増えたことも、大きな変化の一つです。実習や課題も教え合ったり、互いに弱点をカバーしながら取り組んでいました。

長い夏季休暇を経て、後期ではさらに成長した学生たちと、残りの半年を大切に過ごし、一人も取り残すことなく進級できるよう、クラス全員で一丸となって頑張っていきたいと思います。

こうりキッズのみなさんへ

3C担任 名木野 晴暢

北川友美子先生からクラスを引き継いで約半年が経ちました。今回で4回目、かつ2年連続の3C担任ですが、毎回クラスの雰囲気異なっていて新鮮です。また、学ぶことも多く「今年度も3C担任を任されてよかった！」と思っています。今年度の3Cの特徴は、「気持ちのよい挨拶ができること(これに何度助けられたことか…涙)」と、やはり「こうりキッズであること」でしょう！

そんな「こうりキッズ」なみなさんに、吉田松陰の次の言葉を贈ります。「努力して後悔した人は一度も見た事はないが、努力しないで後悔した人は腐るほどこの目で見てきた。練習して下手になる人はいない。勉強して馬鹿になる人もいない。何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人は絶対にいない。」失敗を恐れずに自ら行動・挑戦し、継続的に成長していくことを願っています。

学年通信

4学年クラス通信

あなたにとっての「点」と「線」

4M担任 中野 壽彦

“Connecting the dots”という言葉があります。スタンフォード大学卒業式でスティーブ・ジョブズが行った、伝説的とも言われるスピーチの中の、とても有名なフレーズです。「点」は過去の経験のことで、経験が積み重なって「線」になっていくと、その当時は思いもよらなかった未来につながっていく、という様な意味です。いやほんと、うまいこと表現しますね。

これから皆さんは、就職や進学やその他、将来のことを色々考えていくのかなと思います。その際、そもそも自分とは何か？ということに立ち返る必要があるかもしれません。過去の「点」を振り返り「線」が浮き上がっていくと、これまで積み上げたものや、それが今どのように結実しているか、が具体的にになります。そうやって自分とは何かを理解できると、将来を考えるヒントになるかも。また今この瞬間の「点」も、きっと何かの未来につながるはず。心の赴くまま、全力で物事に取り組めるとよいですね。



高専生活後半戦

4S担任 重松 康祐

皆さん、高専生活も後半戦に入っています。振り返ってみると、日々の忙しさに追われる中で、あっという間に時間が過ぎていると感じるのではないのでしょうか。これからの時間をどう過ごすかが、皆さんの未来を大きく左右します。

参加したインターンシップや研修旅行は、皆さんにとってどのような経験だったのでしょうか？新しい視点を得たり、自分の興味や関心を再確認する良い機会になったのではないかと思います。これらの経験の中には、皆さんの進路を考える上でのヒントがたくさん隠れています。今後は、そのヒントをしっかり掘り下げ、自分の将来について具体的に考えていくことが重要だと思います。

後期には企業の方やOBの方から直接お話を伺う機会が予定されています。実際の業界の話を知ることができると、自分が興味を持っている分野のリアルな姿を知ることができると思います。これらの機会を大切に、自分の将来像をより明確にしましょう。

進路選択は悩むことが多いかもしれませんが、周りには先生や友人、そして家族がいます。一人で抱え込まずに、気軽に相談することも忘れないでください。これからの皆さんの努力が、きっと未来への道を切り開いてくれるはず。一緒に頑張りましょう！



今だからこそやるべきこと

4E担任 辻 繁樹

後期がスタートし、4年生の折り返し地点に差しかかりましたが、何か1つでも“エピソード”ができましたでしょうか？

4月からずっと言い続けていることですが、この4年生の1年間は来年度の進学・就職のための大切な準備期間です。1回目のアンケートをもとに個人面談にて一緒に考えました「この一年間でやること」の取組状況はどうでしょうか？

今年度、みなさんは貴重な知識、経験を得るイベントであるインターンシップや研修旅行に参加しました。ぜひともそれらイベントにて学んだことを進路選択のときだけでなく、今後の人生の歩み方にも生かしてもらいたいと思います。また、知識、経験を得たと同時にみなさんそれぞれの改善すべきところも明確になったことと思いますので、本番までに改善しておきましょう。

本番まであと数か月しかありませんが、経験値をためるチャンスはまだたくさんあります。どんな経験が将来の自分に役立つかなんて誰にもわかりません。選り好みせず、苦手なことも含めて様々なことにチャレンジし、そしてその経験から得られたこと、学んだことは何か？をきちんと他人に伝えられるよう準備しておきましょう。

やりたいこと／できること

4C担任 永家 忠司

本校に赴任してから早くも5年目になり、はじめてのクラス担任を務めることになりました。前任校では同じクラスを3から5学年までの担任をやっていたこともあり、そのときの経験をもとに業務をこなしていますが改めて学ぶことも多く、日々研鑽の必要性を実感しています。今年の2月頃、前任校で担任をやっていたときの教え子が旅行として北海道や東京から大分に訪ねてきました。記憶も薄れつつあった当時の苦労したことや嬉しかったことを彼らと話すなかで徐々に思い出すことができ、改めて頑張ろうと思った次第です。今回わざわざ大分まで訪ねに来てくれた彼らの成長した姿を見る限り、当時手探りでただがむしゃらにやっていたことは少なくとも彼らにとっては微力ながらも役に立てたのではないかと思います。さて、話しは変わりますが、これから4年生は自分の進路を決める必要があります。特に就職する場合、数ある選択肢から皆さんはどのように決めるでしょうか。オンライン記事で星野リゾート代表の星野佳路さんがキャリア論について次のように述べていました。「自分が何をやりたいか」も重要だが「自分ができること(貢献できること)を知る」という意識が大切である。今できることによって一生懸命に貢献していけば、結果的に自分がやりたかったことにつながり、できることがやりたいことになるかもしれない。』皆さんの多くがインターンシップで様々な業務等を実際に体験しましたが、その中で自分がやりたいことだけでなく、できることも多少認識が深められたかと思います。今回の経験を通じて自身の目指すべきキャリア像について今一度考えてみてください。

学年通信

5学年クラス通信

高専生活も残りわずか

5M担任 竹尾 恭平

高専生活も残り半年となりました。それぞれの進路も決まってきた、高専生活もラストスパートです。さあ皆様、これまでの高専生活はいかがだったでしょうか？

皆さんが入学した4年前は新型コロナウイルスの影響を大きく受けて、入学して間もなく、オンライン授業となり、不安なことも多々あったと思います(ちなみに、私はこの年の9月に大分高専に着任してオンライン授業の設備ができて驚きました)。その後も、コロナ以前に中々戻れずに、思うような高専生活を送ることが出来ないこともあったことでしょう。

後期は、体育祭、高専祭、音楽祭などの行事がありますので、最後の高専生活を充実したものにしてほしいと思います。もちろん、しっかり単位取得や卒業研究も頑張って卒業していただくさいね。



Review & Action

5S担任 井上 優良

皆さんと一緒に過ごせるのも、残りあと半年だそうです。皆さんは実感湧いていますか？ 私は全く無いです。いつまでもこのクラスと共にいるという気持ちになってしまっていますが、いよいよ高専生活も終わりを迎えるときが近づいてきているようです。やり残したことはありませんか？ 一つずつ、やりたかったことを実現していきましょう。もちろん、時間は有限ですから全部をやりきれるとも限りませんよね。まずはリストアップして、これから何を優先的にやるのか、どんな順番でやるのか、ざっくりでいいのでプランを立てましょう。すべてが計画通りに進むことはないのですが、その通りにいかなくてもポジティブにその都度直しながらやっていけばOKです。見直すことが大事です。試験と一緒にですね。社会に出れば自分のことは自分で決めて進めていかないといけないことが増えてきます。そのためのワンステップだと思ってまずはやってみましょう。ポジティブに行動を起こせる人にはきっと良い未来が待っていると思います。



「伝える」と「聞く」

5E担任 田中 大輔

現5Eのクラス担任になってから、私が伝えたつもりでいたことを、「初耳だ」「聞いていない」と言われたり、「聞いた気もするが、大事じゃないと思った」と言われたりすることがありました。この原因について悩んでいた時に、「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？という本に出会いました。この本には、伝わらない理由として、「伝える側が相手の立場に立っていない」「個人によって理解の物差し(スキーマ)が異なる」「人は自分に都合よく解釈し、誤解し、忘れ、聞き逃す」などが挙げられています。なるほど、私が皆さんの立場に立って説明できていなかったことが原因の一つだったようです…要改善です。また、私と皆さんの経験や専門性の違い、その日の精神状態や体調など多岐にわたる要因が情報伝達と密に関係しており、更に勘違いや思い込みもあるため、伝えることがいかに難しいかを痛感しました。ここでちょっと困ったことは、君たちが大学生や社会人になった時、上司や先輩、指導教員の中に私と同じように苦悩する人もいれば、悩まずにサクッと見切りをつける人もいるということです。見切られるのは勿体ないと思いませんか？ 私は本を読み終えた時に、話者が聴者の立場になって伝えることと同じくらい、聴者が話者の立場を理解しようとするのも重要なのではないかと考えました。卒業までに、この「伝える力」と「聞く力」(併せてコミュニケーション能力)を共に意識しませんか？ コミュ力向上させ、日々の生活をより豊かにしましょう！

未来へ羽ばたくラストスパート

5C担任 一宮 一夫

それぞれの卒業後の新たな人生に向けた準備が順調に進んでいます。ほとんどの学生は建設業界に進みますが、2024年問題(働き方改革関連法)の関係も加わり、昨年度同様に数多くの求人をお待ちしています。

さて、「学校での勉強は社会では直接役に立たない。社会に出てから改めて勉強すれば良い。」という話を聞いたことがあります。確かに日進月歩で進む科学技術に対しては専門分野の一部はそのような側面もあるかも知れません。しかし、大分高専の学習教育目標にも掲げられており、新しい技術開発に不可欠な、「イメージ力」の育成には学校教育は大きく貢献していると思います。特に、目に見えないものを対象にする、数学や物理・化学、そして文学をはじめとする人文系の学習をすることの意義はそこにあると私は確信しています。高専生活も後半になりましたが、今一度教科書を読み直して、これまで学習したことを反芻してみたいかがでしょうか。

社会インフラの長寿命化、自然災害に強い国土造り(国土強靱化)など、常に社会を俯瞰的に捉え、IOTをはじめとした新技術導入に取り組むことができる高度な土木技術者のニーズは益々高まっています。

充実した人生につなげるためにも、卒業までの時間を大切に過ごしてくれることを願っています。

専攻科便り

専攻科の状況

専攻科長 本田 久平

今年度の専攻科は、機械・環境システム工学専攻1年生21名、2年生20名、電気電子情報工学専攻1年生13名、2年生11名が在籍しています。

専攻科1年の前期には、プロジェクト実験が実施されます。この実験は、2専攻合同でチームを組み、協力しながらものづくりを行います。今年のテーマは昨年に引き続き「地域あるいは自治体の防災力・減災力を向上させるためのアイデアに基づくものづくり」でした。今年1月に能登半島地震、8月に日向灘地震が起き、防災に対する意識は高まっているかとは思いますが、実験では、工学の側面から課題解決に取り組んでおり、

学生達は、災害が起きたときの捜査活動の問題や避難所生活での問題を取り上げた作品を各専門分野の技術を統合させて完成させました。

専攻科2年生は、学位取得に向けて学位授与申請を行います。昨年までは10月に申請していたのが7月へと前倒しになりました。それに合わせて中間発表会も6月に移行しました。また、新たな取り組みとして、中間発表を口頭発表からポスター発表へと変更しました。全員が無事専攻科修了と学位取得ができるよう、引き続き頑張っていただければと思います。

良い思い出をいっぱい作ろう。

MC専攻主任 山本 大介

早いもので、今年の2MCの皆さんは、本校での学生生活は残すところ半年を切りました。進学を選択した人も、就職を選択した人も、あと半年もせずに本校を修了して巣立っていくことになります。どのような進路を選択したにしろ、中学校卒業後に始まった大分高専生としての7年の節目になることには変わりはありません。担任の目から見て、2MCのクラスの皆さんはとても仲良く楽しそうに学生生活を送っているように映り、うれしく感じます。その一方、ここでお願いしたいことがあります。それは、学生のうちに『このことについてはやり切った!』と言えるものを自分自身の中に残し、卒業していったほしいということです。とりわけ、取り組んでいる特別研究について成果が残せれば最高だと思います。

どのような形にしろ、みなさんはこれから社会の荒波にさらされる『社会人』となります。社会人として大事なことの1つは、自ら考え主体的に行動できることだと思います。特別研究を通じて、与えられたことをこなすのみならず、自らテーマについて深く考え、それを研究の場で実行できる人になってもらいたいです。このような経験は、将来絶対に自分自身の黄金の宝物になると確信します。残すところ半年足らず、遊びも勉学も研究も悔いの残らないよう突っ走って、良い思い出をいっぱい作ってください。

九大連携1期生

ES専攻主任 西村 俊二

本年度のES専攻2年生は11名で、進路については進学希望者が7名、就職希望者が4名となっています。本学年は九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム(いわゆる九大連携)が施行された初年度であり、本校電気電子工学科出身の学生1名と情報工学科出身の学生1名、計2名がこのプログラムを履修しています。この2名の学生については昨年度の専攻科1年次を大分高専で過ごし、今年度2年次は九州大学筑紫キャンパスで過ごしています。

学生のみなさんにおかれましては、順調に勉学に励んでいることと存じます。これから学位取得の手続きや研究の仕上げなど、専攻主任としてできることをサポートしていきますので、専攻科の修了に向かって共に進んでいきましょう。



専攻科での半年を振り返って

MC専攻1年 神崎 風香

専攻科に入学してまだ半年ほどしか経っていませんが、もう専攻科生活の4分の1が終わってしまいました。専攻科では、本科で学習してきた内容とは異なる授業が多くあり、より専門的で高度な勉強ができることに加え、十分な研究時間も確保されています。特に、造形デザインなどの都市・環境工学科の授業は、機械工学科では学ばない内容で新鮮でした。また、プロジェクト実験では、各学科の専門知識を活かし、全学科合同でひとつのものを作り上げました。このように、本科と同じ環境にしながら新しい体験ができることが専攻科の魅力だと思います。

2年間という短い期間ではありますが、より一層勉学や研究に励みながら、自分の将来について考え、私生活も含めて充実した専攻科生活を送りたいです。

準備期間

ES専攻1年 大石 健太

電気電子工学科での5年間を終えて、私は専攻科に入学しました。専攻科では電気電子系の科目に加えて、情報系の科目も受講することになり、内容は難しいもののより幅広い知識をつけることができていると感じています。また、前期のプロジェクト実験では、他学科出身の学生と協力して一つの作品を製作しました。学科間の連携の難しさを実感するとともに、幾多のトラブルを乗り越えて作品が完成したときの達成感も経験することができました。

専攻科に入学して感じた大きな変化は、研究と向き合う時間が増えたことです。卒業研究からのテーマを引き継ぎ、さらに2年間研究ができるため、より多くの成果を出すことができます。さらに、今後の学会発表やポスター発表の機会を通して、自身のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を培っていききたいと思います。

自分の進路と向き合い、この2年間という「準備期間」を自分にとって有意義なものにできるように日々を過ごしたいと思っています。



本科新入生の声

高専に入学して

1M 淵上 和花

私は、小さい中学校出身なので新しい環境や友達に馴染めるかとても不安でした。しかし、すぐに学校生活や寮生活にも慣れて、楽しい高専生活を送ることができています。授業は先生の講義が面白く、あっという間に90分が過ぎていきます。また、機械実習は友達と協力しながら課題解決をしたり、機械を使って材料を加工して、ものづくりの楽しさを実感しています。さらに、部活動や寮生活では、交友関係が広がっています。本当に高専にきてよかったと思っています。これからも夢の実現のためにいろいろなことにチャレンジしていきたいです。



大分高専のここがすごい!

1E 小野 虹朗

僕が高専に入学してまず感じたことは、自分が考えていたより高専生はフレンドリーであり、そしてやはり高専はすごいなということです。クラスメイトはみな個性的で面白く5年間を楽しく内容の濃いものにできると思います。さて、これからは僕が大分高専のここがすごいと感じた点を2つ挙げていきます。まず1つ目は、先生の授業が分かりやすくサポートも手厚いという点です。自分が疑問を持ったところをとことん深く教えてもらえるのは高専の強みだという印象を受けました。そして2つ目は、専門教科があり十二分な設備が整っている点です。高専には普通の高校では扱うことのない珍しい機械などがあり、さすがは高専だなと感じました。90分ある授業や専門の教科にはまだ慣れませんが、最高のクラスメイト達と楽しんで学んでいきたいと思っています。

高専に入学してみても

1S 若林 蒼志

僕は高専に入学する前、何もかもが新しい環境で5年間も過ごしていくことに不安を感じていました。しかし、入学してみても今1番感じていることは、不安ではなく毎日が楽しいということです。僕がそう感じるようになった理由は2つあります。

1つ目は、クラスが賑やかということです。優しくも面白くもあるクラスの人たちに毎日のように笑顔にさせてもらっています。

2つ目は、部活の楽しさです。自分より何歳も上の優しい先輩方に教わりながら一緒に作業ができるという環境が新鮮で楽しいと感じています。

もちろん、楽しいことだけではなく勉強で悩んだりすることもあります。まだまだ続いていく高専生活に期待を膨らませながら過ごしていきたいです。

マイペース人間の多忙な日々

1C 佐藤 叶望

高専に入学したら、中学時代にできなかったヘアスタイルを楽しみ、新たに出会う友人とたくさん遊んで楽しく過ごすつもりでした。ところが、そのような生活を送れていません。物理や数学の授業は進捗が早く、予習と復習が大変です。見学時に楽しそうと思って入部したロボ研は活動時間が長く、設計も覚えることが多いです。

授業や部活に費やす日々のなか、とりわけ物理は難しいですが、新たな考え方を知ることができ面白いです。ロボ研もかなり慣れてきた今、新しい世界をもっと知ることができそうでワクワクしています。入学前に思い描いていたものとは違い忙しいですが、充実しています。これからも様々なことを経験して自分の明るい未来につなげていきたいです。

留学生の声

大分高専での学び

3M モル モニーロッター

私の名前はロッター、カンボジア出身です。大分高専の機械工学科3年生に在籍する留学生として、編入学しました。日本に来たとき、私は物理学の世界、特にエネルギーという魅力的な概念に関心を持ち、深く学びたいと思っていました。数年前、エネルギーがどのように動き、どのように変化するかを初めて学んだとき、私の興味に火が付き、この原理を理解して実生活に応用したいという情熱を持つようになりました。大分高専での最初の4ヶ月は、私にとって良い経験になりました。印象に残っている授業のひとつは材料学で、金属の結晶構造を学んでいます。この授業を受ける前は、金属がどのように機能す

るのかまったく知らなかったのですが、結晶構造について学んだ後は、私にとって複雑ではありますが新鮮で、さらにその美しさを知りました。原子の配置が金属の特性にどのような影響を与えるのか、そしてこの知識がより強く、より効率的な材料を作るために現実の世界でどのように応用されているのか、とても興味深かったです。大分高専に来て、機械工学について学ぶ機会に出会いましたが、教えるということ自体についても学ぶことになるとは思いませんでした。何を教えるかだけでなく、どのように教えるかを常に考えています。いつかこの経験を母国に持ち帰り、自分の教え方に生かしたいと思っています。私は学生としても人間としても成長しました。大分高専で学べることに感謝しています。

学生会便り

学生会長挨拶



学生会会長

4 E 太田 道志

私たちの学生生活は、多くの可能性と機会に満ちています。大分高専の学生会長として、私はこれらの可能性を最大限に引き出し、学生一人ひとりが自らの夢に向かって前進できるよう支援することに尽力します。

私たちの学生会は、学生の声を代弁し、学生生活の質を向上させるための架け橋となるべき存在です。私は、学生一人ひとりの意見が尊重され、それぞれの夢や目標が支援される環境を作ることに尽力します。また、学生会が学内外の様々な活動を通じて、学生の皆さんの成長と発展に貢献することを目指します。

教育の場としての大分高専は、知識の獲得だけでなく、人間としての成長を促す場でもあります。私たちは、学問の追求に励むと同時に、社会に出てからも通用する価値観やスキルを身につける必要があります。学生会は、そのような全人的な成長を促進するためのプログラムやイベントを企画・実施することで、学生の皆さんを支えます。

さらに、学生会は学生間の連帯感を深めるための活動も重要

視しています。共通の目標に向かって協力し合うことで、私たちは困難を乗り越え、大きな成果を達成することができます。私は、学生会がこのような結束力を高めるための場を提供することに努めます。

私の任期中、私は透明性と公正性をもって学生会を運営します。学生の皆さんの信頼に応えるために、私たちの活動は常にオープンであり、意見交換の場を設けることで、学生の皆さんの参加を促します。また、学生会の財政状況や活動計画についても、定期的に報告し、学生の皆さんに理解していただくよう努めます。

最後に、私たちの大分高専が社会に貢献する人材を輩出するためには、学生会が重要な役割を果たすと確信しています。学生会を通じて、私たちは社会に出る前に必要な経験を積み、リーダーシップやコミュニケーション能力を磨くことができます。私は、学生会がそのような機会を提供することで、学生の皆さんが将来にわたって成功するための基盤を築くお手伝いすることを約束します。

私は、学生会長としてのこの重責を誇りに思い、学生の皆さんと共に、私たちの学校をより良いものにしていくために、全力を尽くす所存です。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

副会長挨拶



副会長

4 E 林田 誠人

こんにちは、知っている方は少ないと思いますが、実は副会長をやっている林田誠人と言います。

私は、大分高専の学生会副会長として、会長のサポート、各局の補助、定例会において積極的な発言をするなど、学生会をより良いものにするために日々努力しています。学生会は、学生全員が自分の声を届けるための貴重なプラットフォームであり、学校全体を活性化させる力を持つ重要な組織です。そんな学生会で私が約3年間学生会を経験して思ったことを素直に話そうと思います。

私は1年生の後期期末に学生会の総務局に入りました。当時は何をするのかも全く分からず先輩方に質問してばかりでした。しかし先輩方は毎回、どんなに忙しくても、毎回の確かな指示やアドバイスを私に教えてくださり、おかげでだんだんと仕事がこなせるようになりました。総務局は各局のサポートや事務的な仕事など様々な仕事がありました。やはりそれなりが大変でしたが、三大祭などの大きな行事が終わった後の達成感は学生会でのこの経験でしか得られないとても貴重なものでした。冒頭にも書きましたが私たち学生会は学校全体を活性化させる

力があります。

つまり自分自身も成長させることができるのです。今私が副会長として目指しているのは、全ての学生が学校生活を全力で楽しめるような学校を創る事です。その目標が果たせるようにこれからも学生会内で切磋琢磨していきたいと思っています。

さて、もうすぐ体育祭、高専祭、音楽祭という三大祭りが始まります。これらのイベントは、学生会にとっても私たち学生全員にとっても、一年の中で最も大切な時期です。これらの祭りは、ただ楽しむだけでなく、全ての学生が一つになり、学校全体を盛り上げる絶好の機会です。特に高専祭は各クラスが協力して一つのものを作る、一年に一度しかない貴重なイベントです。私は今年で4回目の高専祭となりますが年を重ねるごとに協調性や団結力などの成長を感じることができました。これからの三大祭りに向けて、私たち全員が一つになって最高の思い出を作り、誇りに思える学校づくりを進めていきましょう。学生会がその一助となることを心から願っています。

ここまで学生会についてそして三大祭りについて語ってきました。正直、堅苦しすぎたかなと思いますが、学生の皆さんが学生会についてしっかり知り、三大祭りに対してしっかり考えてくれたら幸いです。学生のみなさん、後期も頑張りましょう！

学生会便り

新生オリエンテーション



総務局長
5E 脇 英知

今年度の新生オリエンテーションの担当をしました、学生会総務局の脇です。今年は2日間を通して快晴であり、青空のもと、様々なアクティビティを行うことができました。1日目は学科内での交流を目的とした学科レクや宿泊施設である青少年の家のビーチでの奉仕活動、施設の方による星座の解説を含めたプラネタリウムの観賞を行いました。2日目は宿泊施設から数km離れた長崎鼻までハイキングをし、良い汗を流しました。活動中、1年生はまだ慣れない環境の中で、クラスメイトとコミュニケーションを取ったり、学生会や指導学生とともに楽しんで活動をしていました。時折見せる笑顔を見ると、学生会として準備を行った甲斐があったと実感しました。普段の学校生活でも、1年生を見て、あんな時期があったんだと感じつつ、活力をもらっています。これから1年生が高専でどのような力を発揮するのか、陰ながら見ていきたいと思います。また、今年度は一部の学生が有志で指導学生として参加して頂きました。それに加えて、学生主事室やクラス担当の先生方には活動に対して御理解と御協力をして頂きました。この場を借りて、改めてお礼を申し上げたいと思います。

球技大会



体育局長
5E 小出 真叶

こんにちは。体育局長を務めております小出真叶です。

まず初めに、球技大会の運営・進行にご協力していただきありがとうございます。

今年の球技大会は楽しんでもらえたでしょうか。僕は結構楽しかったです。運営側から見ても、例年に負けず劣らずの盛り上がりだったのではないかと思います。1年生から専攻科生まで年齢の

幅も広いこの学校ですが、この球技大会を1つの交流の場として他クラス間とも交流を深めるいい機会だったのではないのでしょうか。

球技大会のような大きな行事は、先生方のご尽力、学生会メンバーの働き、そして学生全員の協力により実現できるものだと思います。僕たちがただ企画して実行するだけでなく、学生みんなに楽しんでもらえたことで球技大会は成功という形で終わることができました。本当にありがとうございます。

後期には体育祭を予定しています。体育祭は球技大会と違って同じ学科間、あるいは同じ学年間で協力し団結力を深めることができるような行事にしたいと思っています。昨年までの反省を活かし、誰でも楽しめる機会のある体育祭にする予定なので、楽しんで貰えると嬉しいです。ご協力お願いします！

七夕イベント



文化局長
5M 尾林祐佳子

こんにちは。文化局長の尾林祐佳子です。今年で4年目の七夕イベントですが、お楽しみいただけましたでしょうか。昨年学生会役員となりいきなり文化局の副局長に選出され、右も左も分からないまま局長に就任しました。なんとか七夕イベントを終えることができ一安心です。やはり「恋人が欲しい」という内容が多かったのですが、高専生の願い事だけあってユニークな内容が多く、専攻科からの切なる願い、好きな惣菜発表ドラゴン、さらに織姫からの願い事などがありました。オープンキャンパスの日も笹と短冊を設置していたため、来場者の方も「高専に受かりますように！」という願い事が書かれており、七夕イベントに参加してくれた嬉しさや受験期の辛さが一気に押し寄せました。他にもたくさん内容の短冊があり、今年も楽しませていただきました。

また七夕イベントに伴って吹奏楽部、軽音楽部の皆さんに演奏をしていただきました。七夕のシーズンに彩を添えてもらったおかげで、学生の皆さんも楽しんでいただけたと思います。イベントへのご参加ありがとうございます。

後期にはクリスマスイベントを予定しております。七夕イベントと同様にプレゼント企画も予定しております。奮ってご参加ください。

学生会総会



会計・監査局長
5M 井上 颯

こんにちは。会計・監査局長の井上颯です。今年度も学生会総会にご参加いただきありがとうございます。年度の初めに今年度の収入に対して昨年度と同じ金額で予算を組むと150万円程の赤字になっていました。昨年度の支出もかなり抑えていたものなので、どうやって赤字を無くそうか考えていました。学生会費は保護者の方々からいただいたお金を学生の皆さんに部活や高専祭などで還元しようというもので、予算を減らしすぎるのもよくないとも思いかなり悩んでいました。悩んだ結果、学生会で使うお金と部活で使うお金を昨年度使った金額の2割減の金額で予算を組んでもらうということになりました。その節は各キャプテンの皆さん本当にありがとうございます。それでも予算がきついに変わりはないのでこれからも優しい目で見てください。

昨年度会計局副局長として学生会に所属しており、先輩の仕事を見て学んだはずでも実際に自分がやるとなると思ったようにはいかず苦戦したので、皆さんもできる気になって油断しないようにしてください。

これからも学生会会計・監査局長として学校をよりよくするために精一杯頑張ろうと思うのでご協力よろしくお願いします。

寮生活会り

ほかほか女子寮

1寮寮長 5C 庄野 佑衣

昨年後期より1寮長を務めました、庄野佑衣です。

今年度は、例年より多い11人の1年生が女子寮に入寮し、慌ただしくも活気づいたスタートとなりました。男子寮とは異なり、全学年が集う女子寮は、独自のルールも厳しくあります。そのため、掃除当番や点呼当番を他学年他学科で構成し、学年の壁を超えた環境づくりを心掛けてきました。時には、集合させての指導もしましたが、ほかほかした雰囲気半年間でした。また、今年度は4月に地震が発生しました。特に1年生は、始まったばかりの寮生活の中で、夜中のアラームはとても不安だったと思います。その中、迅速に集合・点呼が完了しました。防災訓練前だったのにも関わらず、上級生が下級生を連れて集合

し、指導寮生により建物の異常確認もスムーズに行われました。

さて、これからは新寮長が率います。たまったもんじゃない!と思う場面もあるのが寮生活ですが、自分たちで居心地の良い寮をつくり、今しかないこの時間を、かけがえのない仲間と楽しんでほしいです。

最後に、寮生活は自分1人の力で過ごしているように感じることもありますが、その裏や見えないところでは数えきれないほどの、おかげさまの存在があることに気がつきました。まだまだ、気づけていないけれど、もっと多くの人の支えがあり、生活できているのだと思います。どうもありがとうございます!

最後の明野通信

寮生会長 5E 小野 夢歩

こんにちは、前期寮生会長の小野夢歩です。1年間という短い間でしたが、寮生会長は結構大変だなと思いました。特に大変なのは、この明野通信ですね。毎回何を書こうかと迷い、後回しにしてしまうんですね。今回も後回しにしてしまい、後回しにしたことも忘れて締切を過ぎてしまい、先生に怒られてしまいました。

社会に出ると、このような事があった時、「忘れてました」で、済まなくなってしまうので、面倒なことは何でも後回しにしてしまう癖を残し半年で治したいと思っています。

私がこれを書いている時はまだ夏休み真っ只中ですが、この明野通信が出る頃には夏休みが終わっていると思いますが、皆

さんはどのような夏休みを過ごしましたか?私は、自動車学校とアルバイトばかりで友達と遊ぶ時間があまり取ることができてません。今年が最後の夏休みなので、自動車学校をなるべく早く卒業して、友達と遊ぶ時間を作りたいです。

後期からは4年の前橋くんが寮生会長になります。前橋くんは今まで副寮生会長として、僕と一緒に仕事をしてきました。彼なら明野寮を今よりも活気のある楽しい明野寮にすることが出来ると思っています。本当に頑張ってください。

長くなりましたがこれで終わりにしたいと思います。後半は寮にいるので皆さんよろしくお祈りします。

3つの実現

次期寮生会長 4C 前橋 尚幸

こんにちは、後期から寮生会長になりました前橋尚幸です。私は寮の雰囲気やルールを変えたいと思いついて寮生会長になりました。私がやりたいことは3つあります。

まず挨拶運動の実施です。寮の入り口に5人ほど立たせて毎朝30分挨拶をさせます。そうすることによって寮生の挨拶への意識が少しでも変わってくれればいいなと思います。

2つ目は門限を20時にすることです。そうすることによ

って、寮生の安全の確保と学力向上を目指していきます。

3つ目は消灯時間を22時にします。22時にブレーカーを切つて寮の電気やコンセント、ルーターなどを使えなくして寝るのを促す状況にします。そうすることで寮生の健康と睡眠時間を確保することができます。寮生会長になったからには必ず成し遂げてみんなのお手本になれるように頑張りますのでよろしくお祈りします。



国内インターンシップ報告

4M 岡本 朋也

私は8月26～30日の5日間、三菱重工株式会社神戸造船所のインターンシップに参加しました。

当施設は、造船業のみならず、原子力発電や宇宙機器の開発など、多岐に渡る分野に力を入れられており、今回は、大型冷凍機という、ショッピングモール等の超巨大施設の冷暖房機能を司る機械の設計部門に参加しました。

この機械には、「冷媒」という熱を吸収する流体を、圧縮機で圧縮する過程があります。私が行ったのは、冷媒の種類と、圧縮機のモータの種類により、モータに生じる起動電流がどう変動するかという検証を行いました。また、実際に大型冷凍機の工場にもお邪魔させていただきました。

ここで製造されている大型冷凍機は、最低でも家庭用エアコン150台分の冷却機能を持つこともあり、大きさや見た目も相当な迫力がありました。最終日には検証の結果とインターンシップの感想を発表しました。

主に電気の知識が必要だったので、検証にはかなり苦戦したのですが、普段、部材の強度により設計計算をしている身からして、電気的特性からのアプローチは新鮮でした。その他にもオフィスの雰囲気や、細かい業務の効率化など、現場でしか知ることのできないことを勉強させていただき、掛け替えのない経験となりました。

4S 増田 ひづる

私は8月25日から30日までの5日間、茨城県日立市に本社を置くヒロエンジニアリングでインターンシップを体験しました。ヒロエンジニアリングは火力発電設計プラントを主な業務としており、今回のインターンではその関連実習が中心でした。特に火力発電所の設計においては、消防法などの法律を理解する必要があり、多くの知識が求められることが印象に残りました。

初日にはレゴシリアルプレイを通じてチームビルディングを行い、最終日には4人でのグループプレゼンを実施しました。この経験を通じて、仕事におけるコミュニケーションの重要性を深く学びました。これまでコミュニケーションが苦手だった私ですが、他の参加者が積極的に声をかけてくれたおかげで、発言する自信が付き、活発に議論に貢献することができました。

今後は、インターンシップで学んだことを仕事や生活に活かしていきたいと考えています。

4E 林田 誠人

私は8月25～30日までの5日間、エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社(EDS)のインターンシップに参加しました。EDSはエクシオグループの一員であり、システムインテグレーション事業の中核を担うIT企業です。

本インターンシップでは、インフラエンジニアの業務の基礎になる座学やネットワーク実機演習、AWSを用いたクラウド構築演習などを体験させていただきました。普段私たちが使用しているネットワークの複雑さを学ぶことができ、非常に興味深かったです。また社内見学の際にフリーアドレスデスクやフレックスタイム制度というものが導入されているのを知り、就活の際はこういった社内制度にも注目していきたいと思いました。座談会では新入社員育成に力を入れていることや上司との関わり方について学びました。

今回インターンシップというものに初めて参加させていただき、近い将来、自分自身が社会人として生きていくために必要な知識を多く学ぶことができました。しかし、人事の方がおっしゃっていたように視野を広く持ち、インフラエンジニアも選択の一つと考えて、自身の進む道の方向性を熟考していきたいと思えます。

4C 長野 有里

私は9月2～6日の5日間、鹿島建設株式会社のインターンシップに参加させていただきました。鹿島建設株式会社の業種は、ゼネコンと呼ばれており、大まかにいうと施工に携わる仕事です。私はゼネコンに漠然と興味があったため、今後自身の将来像に役立てたいという思いから参加しました。

研修では現場見学がほとんどを占めており、その際、随時職員の方に説明をしていただきました。今回の現場はトンネル、橋梁や道路、盛土場を一気に見ることができ貴重な経験ができました。特にトンネル工事を見るのは初めてで、トンネルの工事の進め方から重機の名前まで新しい知識ばかりが私の耳に入ってきました。現場では学校の座学や実習でできたことが実際に使われており、活かされていることを知りました。

今回、印象的だったのが、職員の方の知識量の多さです。現場にはコンクリート、地盤や地形の条件が複雑化する中でどんな質問をしても即座に答えが返ってきました。これが可能になるのは、測り知れない経験があるからこそだと感じました。

このインターンシップでは決断の大切さを感じられる部分が多くありました。安全を第一に考えながら高い品質を保つために日々決断する職員の方を尊敬し、今後の学生生活を精進していきたいと思えます。



各種報告

高専体育大会競技 結果

第61回(令和6年度)九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会 結果

陸上競技

7/13(土)、14(日)

御大典記念グラウンド

男子 100m 福田七星(3C) 3位 ★全国大会出場
 男子 200m 國司海斗(2S) 1位 ★全国大会出場
 福田七星(3C) 2位 ★全国大会出場
 男子 4×100mリレー 3位
 女子走幅跳 安部 要(2C) 2位



ソフトテニス

7/20(土)、21(日)

パークドーム熊本

男子ダブルス ベスト8
 陣林岳和(4M)・浅野煌星(3M)

バドミントン

7/5(金)～7(日)

玉名市総合体育館

男子団体 3位
 女子団体 3位



水 泳

7/13(土)

荒尾市民プール

男子 100m 自由形 4位 足立廉汰郎(2C)

硬式野球

7/19(金)～21(日)

山鹿市民球場・熊本県営八代運動公園野球場

3位

バスケットボール

7/6(土)、7(日)

熊本県立総合体育館

男子 Aブロック 2位
 女子 Cブロック 3位

卓 球

7/6(土)、7(日)

ナースパワーアリーナ(熊本市総合体育館)

男子団体 3位



剣 道

7/14(日)

合志市総合センター「ヴィーブル」メインアリーナ

男子団体 Bリーグ3位

サッカー

7/12(金)～14(日)

レゾナックサッカーラグビー場A・Bコート

準優勝 ★全国大会出場
 優秀選手賞 山元滉正(5M)・由川凜太郎(4E)
 大海應介(4C)・伊達光汰(2C)



柔 道

7/13(土)、14(日)

レゾナック武道スポーツセンター レゾナック武道場

団体戦 4位

バレーボール

7/13(土)、14(日)

レゾナック武道スポーツセンター レゾナックメイン競技場

男子 Bブロック3位

女子 3位



テニス

7/11(木)、12(金)

パークドーム熊本

男子ダブルス 3位 永木宏太郎(2E)・佐藤文音(5C)
 女子ダブルス 準優勝
 高倉朋花(4C)・安部花南(4C)



各種報告

第59回 全国高等専門学校体育大会 結果

陸上競技

9/7(土)、8(日)

北海道釧路市：釧路市民陸上競技場

男子 100m 3組8着 福田七星(3C)

男子 200m 2組5着 國司海斗(2S)
3組5着 福田七星(3C)



サッカー

9/14(土)、15(日)、17(火)、18(水)

北海道函館市：函館フットボールパーク

1回戦 対 苫小牧 2-2 (PK 2-4)



各種大会 結果

卓 球

6/23(日)

大分大学旦野原キャンパス

第83回大分県学生卓球選手権大会

女子ダブルス

3位 深浦小夜野(4S)・野島あやめ(2E)

女子団体

3位

バドミントン

7/10(水)

サイクルショップコダマアリーナ

令和6年度春季(第80回)大分市バドミントンリーグ

女子2部

準優勝

将 棋

8/28(水)~30(金)

いわき市生涯学習プラザ

第31回全国高専将棋大会

団体戦

予選A組 予選6位

個人戦

内獅道(4S) 決勝トーナメント ベスト16



全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト (DCON2024)



DCON2024 チームリーダー 4S 佐藤 光河

私は、第5回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2024(DCON2024)に、チーム「Sleep-New-World」のチームリーダーを務め上げ、大分工業高等専門学校としては初出場ながら、72チームがエントリーした中、本選出場を果たし、総合3位を受賞することができました。

DCON(ディーコン)は、昨今、多くの人から注目を集めているディープラーニング技術と、ハードウェアを活用したものづくりの技術から生み出される新規性、事業性を、VC(ベンチャーキャピタリスト)の方々に提案をし、企業評価額で競うコンテストで、VCの方々は、実際に数々の企業に投資をされている方々で、審査中の質問がとても鋭く、少し怖かった印象が今でも記憶に残っています。ただその反面、本気で私たちの相手をしていただいているという嬉しい気持ちにもなりました。

ところで、総合3位を受賞することができた私たちの製品についてですが、私たち「Sleep-New-World」は、チーム名からも推測されますように、「睡眠」をテーマにしています。「睡眠不足」を「睡眠の質向上」によって、少しでも解決することができるようなAI枕、FAIP(Future Artificial Intelligence Pillow)を開発しました。FAIPには名前からも分かりますように、未来型、次世代型といった意味を込めています。

もともと私自身が、睡眠への関心があり、DCONに向けてテーマを考える中で、日本は世界に比べると特に「睡眠不足」であるといった社会課題があることが分かりました。そしてさらに調べていく中で、「睡眠不足」という、とても大きな社会課題があるにもかかわらず、睡眠を支援してくれる枕はあまり市場にはないことが分かりました。そこで私は、このAI枕と

いうアイデアなら、メンバーも絶対に集まってくると確信し、同じ情報工学科の友人を誘い、「Sleep-New-World」を結成しました。私が誘ったメンバーはそれぞれ、とても癖のある人たちで、このメンバーなら絶対に何か入賞できると、私は信じていました。そして無事アイデアも固まり、絶対に良いものが作れる!と思っていました。しかし当然、開発を進めていく中で、様々な問題が出てきました。様々な問題の中でも特に、エアバッグ製作があげられます。私たちが提案したAI枕では、中にエアバッグを搭載しており、このエアバッグが膨らんだり、萎んだりすることで、昇降し、枕の高さが変わるといった設計となっております。最初は自作を試みましたが、必ず空気漏れが発生し、最終的に企業へ外注するしかないという結論に至りました。いくつかの企業に見積もりを取ってもらいましたが、エアバッグを制作するには、学生の自分たちで依頼するには、とてもハードルが高いものでした。そこで、数十社に見積もりをし、相談させていただく中で、ある企業様が、「ぜひ応援がしたい」と言っていただき、無償で提供していただける運びとなりました。そして最終的に、プロトタイプを完成させることができ、総合3位を受賞することが出来ました。その企業様には、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。またAI枕の学習データのために、協力してくれたクラスみんな、心の底から感謝しています。そしていつもアドバイスをくださった重松先生、本当にお世話になりました。クラスみんな、企業様、先生方、たくさんの方々に支えていただいた、3位受賞だと思っています。本当にありがとうございました!



最終プレゼンの様子1



最終プレゼンの様子2



来場者に説明する様子



開発したAI枕

足踏みミシンボランティア活動

大分高専足踏みミシンボランティア活動は、一般の家庭から寄贈された、古くなり使えなくなった足踏みミシンを学生が修理し、それを東南アジアの電気の届かない地域の人々に届け、現地の人々の生活および就労支援を図ることを目的とした活動を行っています。活動は2003年に大分青少年団体連絡協議会(現大分県青少年国際交流機構)から「貧困層の子供達に縫製技術を身に付けさせる自立支援活動」への参加の依頼が契機となり、「足踏みミシンボランティア」の活動はスタートしました。現在、1年生から専攻科生までの26名が活動しています。毎週木曜日の放課後に足踏みミシン部室で、集まった足踏みミシンの修理作業を行っています。足踏みミシンの清掃から始めて、分解、部品の洗浄、そして組み立てまで、全て学生たちの手で行っています。

学生が修理した足踏みミシンをただ贈るだけでなく、一緒に東南アジアの国へ渡って現地の方々に直接修理方法を教える活動も行っています。現地の方々が十分に修理技術を習得することができるように渡航先の言語に翻訳した修理マニュアルを用いて技術指導を実施しています。また、技術指導後も足踏みミシンを長く使ってもらうため、現地の方々だけで足踏みミシンの修理ができるように足踏みミシンと併せて同マニュアルを贈呈しています。

昨年の9月には、コロナ明け初となる海外渡航で、教職員3名と学生12名がフィリピンへ渡り、現地ボランティア活動を行いました。その際には、現地の方々と交流したり、フィリピンの歴史について学んだりしました。これらの経験は学生たちにとって非常に貴重なものとなりました。さらに、これまでに4カ国でのボランティア活動も行っており、コロナ禍を除いては毎年1回のペースで海外渡航を実施しています。

足踏みミシンの良いところは、電気を必要としないことです。東南アジアの国々は電力インフラがあまり整備されておらず、特に貧困層の多い地域では電気を使うことが難しいです。さらに停電も多いため、電気の供給が安定していません。足踏みミシンならば、動力は人の足なので電気は必要ありません。また、壊れてしまった際の修理やメンテナンスが電動ミシンに比べてとても簡単なことも足踏みミシンの良いところの一つです。

2003年から2024年までの21年間に亘る活動の実績として



これまで550台を修理し、そのうちの約360台を東南アジアの4カ国へ贈ってきました。参加した学生の延べ人数は128名、現地では壊れた足踏みミシン27台を修理しました。

足踏みミシンを贈ったことで、貧困のために教育を受けられなかった多くの子供や孤児達が足踏みミシンを用いた縫製品の販売収入により教育や生活支援を受けられるようになったこと、またミシンの縫製技術修得により就労の機会を得た人達など、フィリピン共和国で実施した足踏みミシンボランティア活動は貧困層の人々の生活向上および就労支援に大きく貢献しています。電気を使わない足踏みミシンによって、現地の方々の生活を支えることに繋がります。

コロナ禍で海外渡航ができなくなり、4年間足踏みミシンの修理だけを行ってきました。コロナが明け、海外渡航を再開しましたが、物価高や燃料費高騰などで輸送費用や渡航費用の負担が大きくなり、学生が自らの費用で海外に渡航することが非常に困難となりました。昨年9月のフィリピンへの渡航費用は、1人当たり20万円を超えました。学生たちは、海外渡航に参加するため、アルバイトに励んだり、節約したりすることで、渡航費用をなんとか調達しています。

このような現状から、活動資金確保のため今年7月18日までの59日間におきまして、300万円を目標にクラウドファンディングにチャレンジしました。その結果、196人の方よりご支援をいただき、目標金額を大きく超える5,336,000円の支援金となって目標達成することができました。皆様からのご支援と応援のメッセージに心より感謝申し上げます。

この資金をもとに、今年9月にはこれまで送ることのできなかった95台の足踏みミシンを輸送することができ、さらに同月下旬にフィリピンへの渡航が決定しました。また、足踏みミシンを磨くための洗剤液、ワックス、滑りをよくするためのオイル、足踏みミシンの組み立てに必要な部品やベルトなど、修理には多くの道具が必要です。これからもずっと足踏みミシンの修理を続けるために、道具を買うための資金として使わせていただきます。



国際交流推進室だより

国際交流推進室長 菊川 裕規

本校では、国際感覚を備え、英語での高い表現能力を有するグローバルに活躍できる技術者の育成に取り組んでいます。これまで海外の大学等との交流を盛んに行っていた時期もありましたが、新型コロナの影響もあり近年は国際交流が滞っていました。本年度から5ヵ年計画で「グローバルエンジニア育成事業」が始まり、国際交流活動を活性化し、さらに幅広い活動を計画しています。在学中に一度は海外との交流経験を持つことを目標に積極的に国際交流活動に参加していただきたいと思ひます。

本年度は、第1弾として主に海外渡航経験がない学生を対象に、海外渡航を経験することで外国の文化を理解し、語学力の重要性について認識するとともに、諸外国の技術力および経済力について見聞を広める目的で、台湾およびシンガポールへの海外研修旅行を実施しました。さらに、来年の3月にはカナダ・バンクーバーでの語学研修を企画しています。成績上位者には旅費の補助もありますので、積極的な参加を期待しています。

グローバルエンジニア育成事業 豊の国 ONSEN-G プロジェクト

[1] 英語による表現能力の育成

事業内容 a) コミュニケーション力の涵養

- ① 英語によるアウトプットの機会を強化
- ② プレゼンテーションコンテストへの参加促進
- ③ オンライン英会話講座受講促進
- ④ イングリッシュ・カフェ
- ⑤ eラーニング教材の活用

事業内容 b) 英語による専門教育

- ① 実験実習テキストの英語化
- ② 工学基礎科目の英語による授業提供
- ③ 英語による専門教育教材の開発
- ④ 研究成果の英語による発表

事業内容 d) その他、本校独自の事業

- ① コミュニケーション賞の授与
- ② 英語資格取得による単位認定

[2] 国際感覚を備える

事業内容 c) 諸外国学生と協働した課題解決プログラム

- ① 海外での語学研修
- ② 異文化体験研修
- ③ ミシンボランティア活動
- ④ 外国学生との協働実施PBL
- ⑤ 海外企業でのインターンシップ
- ⑥ 近隣大学の留学生との協働プロジェクト

事業内容 d) その他、本校独自の事業

- ① 本校留学生と日本人学生との交流促進
- ② 海外勤務経験者による特別講演
- ③ 地域産業界が求める人材ニーズに関する特別講演
- ④ 英語による広報ビデオ制作
- ⑤ 教員FD

ONSEN-G : ON-going SENse of Globalization

台湾研修旅行報告

海外研修旅行第1陣として、8月21日(水)~24日(土)の3泊4日の日程で台湾の台北および九份を訪問しました。参加学生は5名でしたが、少人数だからこそ様々な要望に柔軟に対応することができ大満足の旅となりました。現地ではしか体験できない貴重な体験の数々を通して、大きく成長したことと思ひます。

第1日目：中正記念堂、龍山寺

第2日目：九份、孔子廟、台塑企業博物館、士林市場

第3日目：現地大学生との交流(朝市、西門町、迪化街)、台北101

第4日目：故宮博物院

詳細な報告は本校HPに掲載されていますのでご覧下さい。参加した学生さんの感想の一部をご紹介します。

- 今回の旅では、ガイドさんや先生のおかげで何ん自由ない楽しい研修旅行となりました。この経験を活かし、他の国にも行ってみたいと強く思うことができました。
- 現地の大学生から若者言葉など教わることができ、日本とは違う雰囲気や匂いなどを体験できて教科書やインターネットでは教わることのできない良い経験ができました。
- 初めての海外で不安でしたが、外国の文化に直接触れる体験は、資料を見たりするのは感覚がかなり違うことがわかり驚きの連続でした。まだ若い間にこのような経験ができて本當にうれしく思っています。



国際交流推進室だより

シンガポール研修旅行報告

9月3日(火)～7日(土)の3泊5日(機内泊を含む)の日程でシンガポールにて海外研修を行いました。参加者は26名でした。現地大学生との交流や企業見学を含めて盛りだくさんの内容で、英語を積極的に使う機会も多く、有意義な研修となりました。

第1日目：(移動)マーライオン公園

第2日目：植物園、マリナーベイサンズ展望台、マリナーバレッジ(水処理施設)ほか

第3日目：セントーサ島班別行動

第4日目：現地大学生との交流、ナイトサファリ

第5日目：福岡一大分(移動)

参加した学生さんの感想の一部をご紹介します。

- 日本と海外の違いについて学ぶことができました。これから

は英語をもっと勉強して、海外の国の文化なども学んでいきたいと思います。

- 海外渡航を経験したことで、今後の海外旅行への精神的なハードルが少し下がったように思います。伝えたい言葉を表す単語が出て来ず悔しい思いをしたので、今後は一層英語の勉強に力を入れたいと思います。
- 日本、そして大分とは全く違う空気感でした。多種多様な人種や宗教の人たちが共存していて、とても素敵だと思いました。
- 海外で日本との違いを体験すること。その国を知ること。わからないことだらけの状況でも協力して楽しむこと。人生で初めて、とても貴重で忘れられない日々を過ごすことができました。ぜひ、いろんな人に経験してもらいたいです。



地域共創テクノセンターから

皆様には、平素より本校の運営ならび学生教育に対する温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

地域共創テクノセンターは、地域や社会の発展に寄与する教育及び研究開発を展開することを目的に活動しております。活動内容は、学内での工業に関する教育・研究に留まらず、地域への公開講座や地元企業との共同研究、行政機関や教育委員会との連携を通じて大分県の産業と教育の活性化に取り組んでいます。

最近では、科学研究費補助金、共同研究や受託研究の受入れが年々増加しています。その結果、機械、電気電子、情報、都

市・環境、農学などの多様な分野の専門性を有する教員が学生とともに様々な研究活動を実施し、研究を通じた高度な学生教育を実践しております。

地域共創テクノセンターでは、本年度も地域連携及び研究活動拠点として、以下の活動を活発に進めて参ります。

- 技術相談、共同研究、受託研究および寄附金の受入れ
- 技術講習会、講演会、公開講座、「科学と遊ぼう！」講座の実施
- 大分高専テクノフォーラム連携による技術講演会とラボツアーの実施
- テクノカフェ大分(高専・大学合同発表会)の実施



大分高専テクノフォーラム第35回技術講演会



令和6年度公開講座(やってみよう!身のまわりの水質検査)

行事予定

Event Calendar 2024

2024年(令和6年)10月現在

10月

October

- 1日(火) 開校記念日代休
- 2日(水) 後期授業開始
- 13日(日) 高専ロボコン 九州沖縄地区大会【早水公園体育文化センター】
- 17日(木) 体育祭
- 19日(土)～20日(日) 全国高専プロコン【なら100年会館】
- 26日(土) 高専祭

11月

November

- 2日(土)～3日(日) 全国高専デザコン【阿南高専】
- 4日(月) 音楽祭【ホルトホール】
- 9日(土) 保護者会(1～3年)(本科)
- 13日(水) 学生会選挙(本科)
- 16日(土) 保護者会(本科4年)、(専攻科1年)
- 17日(日) 高専ロボコン 全国大会【国技館】
- 20日(水) 13:00～ 防災訓練

12月

December

- 4日(水)～10日(火) 後期中間試験(本科)
- 24日(火) 閉寮
- 25日(水)～1月5日(日) 冬季休業
- 28日(土)～1月5日(日) 校舎閉鎖(閉庁)

1月

January

- 5日(日) 開寮
- 10日(金) 補講日(本科)、特別研究Ⅱ審査発表会(専攻科)
- 15日(水) 補講日(本科)、特別研究Ⅰ審査発表会(専攻科)
- 17日(金) 放課後～18日(土) クラブリーダー研修(本科)
- 21日(火) 卒研試問(本科)、補講日(専攻科)
- 22日(水) (特例)校内小論文試験(2年)(専攻科)
- 25日(土)～26日(日) 全国高専英語プレコン【国立オリンピック記念青少年総合センター(予定)】

2月

February

- 3日(月)～14日(金) 学年末試験(本科)、後期試験(2年は5日まで)(専攻科)
- 6日(木) HR・教室清掃(本科)
- 10日(月) 臨時休業
- 17日(月)～20日(木) 試験解説指導期間
- 20日(木) 終業式(1～4年)(本科)、第1次閉寮
- 26日(水) 最終閉寮
- 27日(木)～3月31日(月) 学年末休業

3月

March

- 18日(火) 第58回卒業式(本科)、第21回修了式(専攻科)

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧(本校公式Webに掲載)をご確認下さい。

明野通信 vol.138

【発行】大分工業高等専門学校 図書館運営委員会 2024年(令和6年)10月29日(火)